

製作に入る前に、「作り方」を最後までお読み頂き、大まかな流れを把握してください。

手順

- 1、パターンを切る
- 2、表布、裏布、キルトわたを裁断し、印を入れる
- 3、キルトわたを貼る
- 4、表袋を作る
- 5、内ポケットを作る
- 6、中袋を作る
- 7、表袋と中袋を縫い合わせる
- 8、口金をつける
- 9、リボンを縫い付ける



1、パターンを切る

パターンにはすでに縫い代が含まれています。
実線通りに切ります。

内側の破線は縫うラインを示しています。

すでに縫い代が含まれていますので、ご自分でさらに縫い代をつける必要はありません。



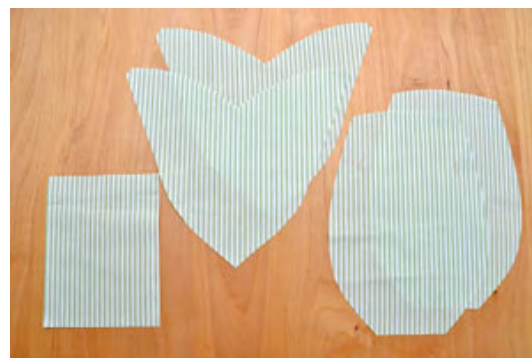
2、表布、裏布、キルトわたを裁断し、印を入れる

(1)「バッグ側面」は、表布、裏布を各2枚、「バッグ正面」は表布、裏布を各2枚、「内ポケット」は裏布1枚を裁断します。

私はいつもロータリーカッターを使用しています。ずれにくくて便利です。



表布



裏布

(2) 「バッグ正面」の裏布は2枚ありますが、そのうちの1枚にのみ「ポケット付け位置」に印を入れます。

印の付け方は、topics08「トートバッグの作り方」をご参照ください



(3) キルトわたは、「バッグ側面」と「バッグ正面」のパターン(型紙)を使います。

それぞれ2枚ずつ裁断します。



3、キルトわたを貼る

「バッグ側面」表布と「バッグ正面」表布の裏面にアイロンでキルトわたを貼ります。

ここで使用しているキルト綿は片面に接着剤が付いているタイプです。

接着剤が付いている面を上にして置き、その上に表布の表面を上にしておきます。(接着剤側と表布の裏面がくっつくように)

ココで注意!必ず布側からアイロンをあててください。

キルトわた側からはアイロンをあてないでください。

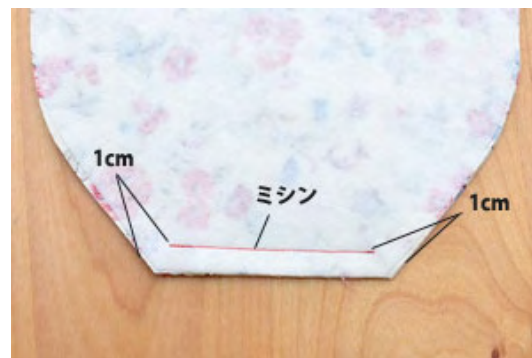
片面接着のキルトわたがない場合は、表布とキルトわた動かないように縫いとどめておくとう作業がしやすいです。



4、表袋を作る

(1) 「バッグ正面」2枚を中表に合わせて、底辺を縫います。

このとき、端から端までは縫わないようにします。1cm開けることがポイントです!!



(2) 次に「バッグ側面」と縫い合わせます。この時も、底面は端まで縫わないでください。

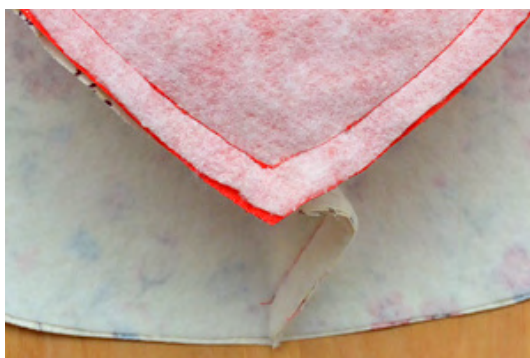


反対から見たら・・・



UP画像

(3) 「バッグ側面」のもう1辺を「バッグ正面」と縫い合わせます。



UP画像

(4) もう1枚の「バッグ側面」もう同様に「バッグ正面」と縫い合わせます。そうすると袋状になりま^{peachmade}した。



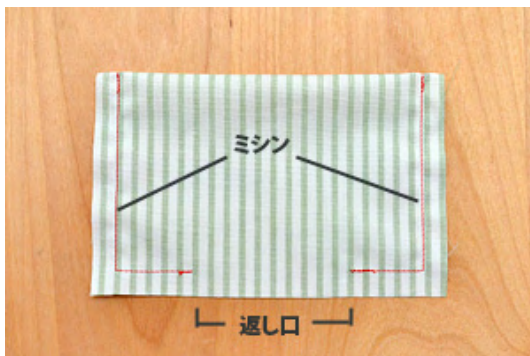
(5) 縫い代を底側に倒し、ステッチを入れます。これで表袋の完成です。



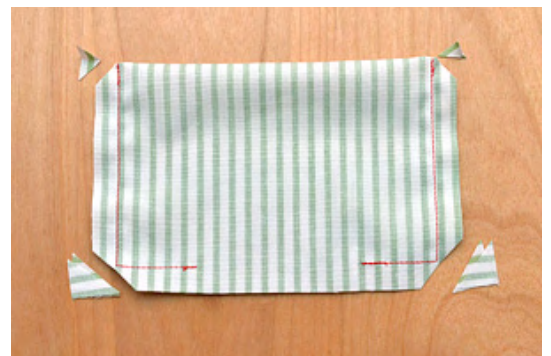
UP画像

5、内ポケットを作る

(1) 中表に二つ折りにして、返し口を残して周囲を縫います。



(2) 角をハサミで切り落とします。



(3) 返し口から表に戻します。
目打ちで角を押し出し、角が直角になるようにします。その後、アイロンで形を整えます。



(4) 端から5ミリぐらいのところPeachmadeにステッチを入れます。
返し口は開いたままでかまいません。



(5) 「バッグ正面」の裏布にポケット口以外の3辺を縫い付けます。



6、中袋を作る

(1) 表袋と同様に、4(1)と(2)をします。

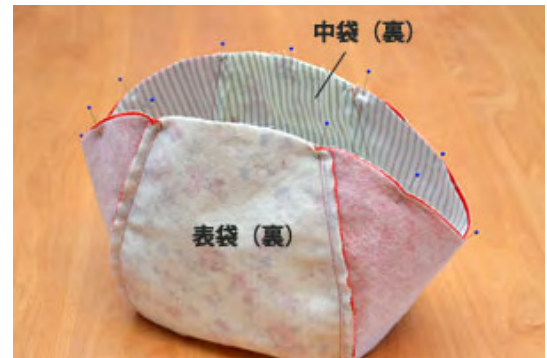
(2) 縫い代を内側(バッグ正面側)に倒します。これで中袋の完成です。
縫い代を倒す向きが、表袋とは反対になります。



底から見たら・・・こんな感じです。

7、表袋と中袋を縫い合わせる

(1) 表袋と中袋が中表になるように合わせます。



(2) 口をグルッと一周縫うのですが、返し口は縫わずに残しておきます。

返し口は10~15cmぐらいが必要です。



(3) V字になっているところにハサミで、縫い目の2ミリ手前まで切り込みを入れます。



(4) 縫わずに残しておいた返し口の縫い代をアイロンで割ります。



(5) 返し口から表にひっくり返します。



(6)アイロンで形を整えてから、袋口にステッチを入れます。



8、口金をつける

(1) topics26「口金の付け方」を参考にして、口金を取り付けます。



9、リボンを縫い付ける

20~25cmぐらいのリボンを4本用意します。バッグの内側からまつり縫いをします。表にひびかないように、裏布だけをすくって縫います。



ナスカン付きの持ち手をつければ完成です！

